

音センサーで Pepper と 会話できるようにしてみよう

音センサーを使い、Pepper と会話する方法を学習します。

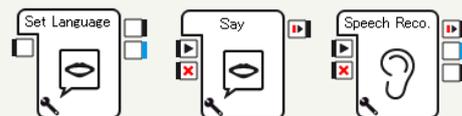
基本課題 Pepper が言葉を聞き取り、返事をするようにしてみよう

■プログラムの作り方

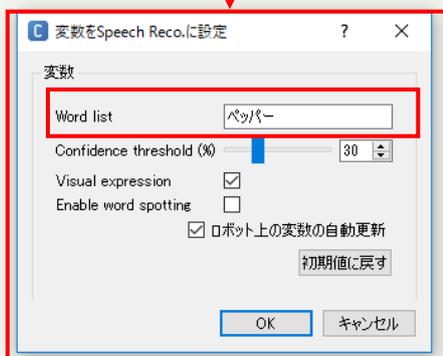
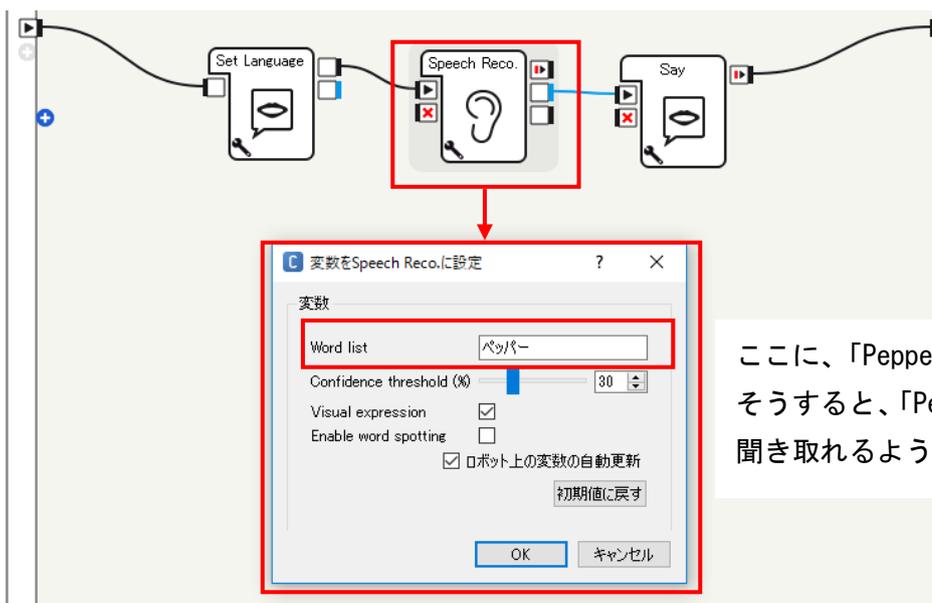
言葉の聞き取りは「Speech Reco.」ボックスを使います。プロパティを開いて「Word list」に聞き取る言葉を入力します。最初は「yes;no」と入力されているので違う言葉に変えてみましょう。聞き取った言葉に対する返事を「Say」ボックスを使って入力します。

ボックスを下図のように配置し、線をつなぎます。

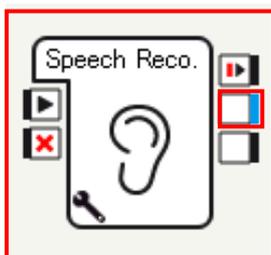
使用するボックス



Pepper の音センサーは「マイク」は頭の上にあります。



ここに、「Pepper」と入れます。そうすると、「Pepper」という言葉を聞き取れるようになります。



聞き取りができたときの信号は、真ん中のコネクタから出力されます。

◆聞き取れる言葉を増やす

「Word list」に入力した言葉の後ろに半角の「;」セミコロンを付けて区切り、言葉を増やします。
例：ペッパー;こんにちは;おはよう



発展課題 1 Pepper が言葉を聞き分けて、それにあった返事をするようにしてみよう

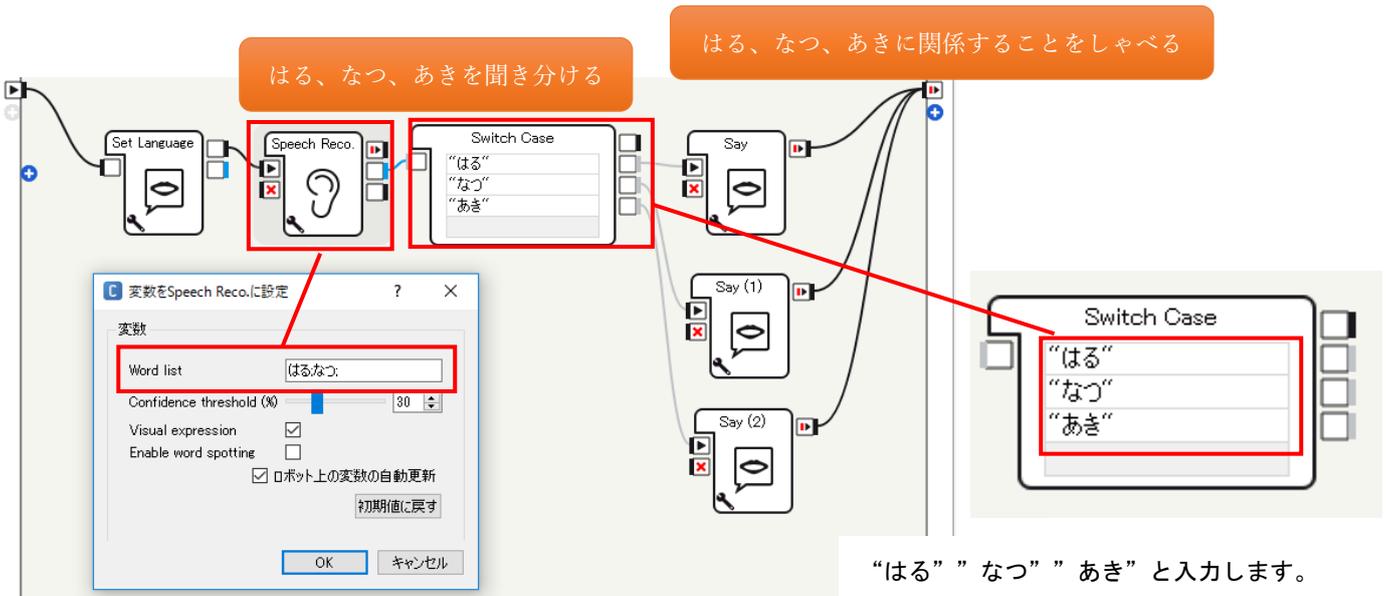
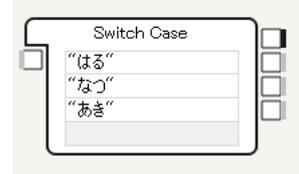
使用するボックス

■プログラムのつくり方

言葉の聞き分けは「Switch Case」ボックスを使います。

「Switch Case」ボックスは、聞き取った言葉をそれぞれの信号に分岐させる機能があります。

ボックスを下図のように配置し、線でつなぎます。



はる;なつ;あきと入力します。

区切りの「 ; 」セミコロンは半角で入力します。

“はる” ” なつ” ” あき” と入力します。

言葉は半角の「 ” 」ダブルクォーテーションで囲みます。



発展課題 2 Pepper から質問して、わからない言葉だったら聞き直すようにしてみよう



わからない言葉だったときは、一番下のコネクタから信号が出力されます。

まとめ (学習の振り返りをしましょう)